

## 研究機関名：東北大学

受付番号：	2008-438
研究課題名	肺癌における EGFR とその情報伝達経路に含まれる蛋白の解析
研究期間	西暦 2009 年 1 月（倫理委員会承認後）－ 2013 年 12 月
対象材料	<input checked="" type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 肺 ） <input checked="" type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 肺 ） <input checked="" type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（凍結標本（肺）） 上記材料の採取期間 西暦 2000 年 1 月－2008 年 12 月
意義、目的	EGFR 蛋白は各種癌で高発現していることが知られており、肺癌においても同様である。EGFR を起点とする情報伝達には多くの蛋白が関与することが知られているが、それぞれの蛋白の発現と意義について詳細な検討はなされていない。本研究では、肺癌患者の試料を用いて、EGFR とその情報伝達経路に位置する蛋白を解析する。EGFR 情報伝達経路においてどのような蛋白が主な役割を担っているのかを明らかにするのが目的である。
方法	免疫染色：ホルマリン固定した標本を薄切したのち、抗体を用いて目的の蛋白の発現を評価する。 ウェスタンブロッティング：凍結標本から蛋白を抽出し、ゲルを用いて蛋白を分離した後、抗体を用いて目的の蛋白の発現を評価する。 質量分析計：凍結標本から蛋白を抽出し純化した後、質量分析計を用いて蛋白を解析する。
問い合わせ・苦情等の窓口	桜田 晃 電話：022-717-8521